

# 買い物・物流・防災の「3つの危機」への対応

## ・買い物環境の崩壊



市民の声が37%に達する

## ・買い物環境の崩壊

片山津温泉地区等で店舗撤退が深刻。「店が欲しい」という市民の声が37%に達する



## ・物流の停滞

2024年問題に加え、中山間地への配送効率が悪化



## ・災害時の脆弱性

能登半島地震の教訓。孤立集落への物資供給と避難者把握が課題



## ・結論

無人化・省人化が必須だが、単独自治体ではコスト負担が重く維持困難

# 解決の鍵「デジタル公共財」の共同利用



## ・戦略

国が推奨する「デジタル認証アプリ(マイナンバーカード機能)」を共通基盤として採用



## ・広域連携

能美市と「共同調達・共同利用」することで、システム開発・維持費を大幅削減



## ・メリット

厳格な本人確認により無人店舗での酒類販売が可能に。共通基盤により小商圏でも黒字化を目指す

# 具体的施策(1) スマート店舗 (片山津・竹内酒販)



- モデル：片山津温泉の「有限会社 竹内酒販」を改装
- 仕組み：デジタル認証アプリで  
  スマートロックを解錠し入店
- 商品：酒類に加え、「金子ストア」と連携し食料品・日用品も販売  
 
- 狙い：観光客の夜間需要と地元高齢者の日常の買い物を両立。20歳未満の入店制限等も実現  
 

# 具体的施策(2) ハイブリッド物流（南加賀物流網）

## ・空の道



加賀市と能美市を結ぶ全長約45kmのドローン航路を設定

## ・拠点の活用



イノベーションセンターや店舗にスマートロッカーを設置し無人受渡を実現

## ・体制



配送は「HMK Nexus」



システム・管制は「株式会社トラジェクトリー」が担当

## ・効果



買い物弱者への配送と、

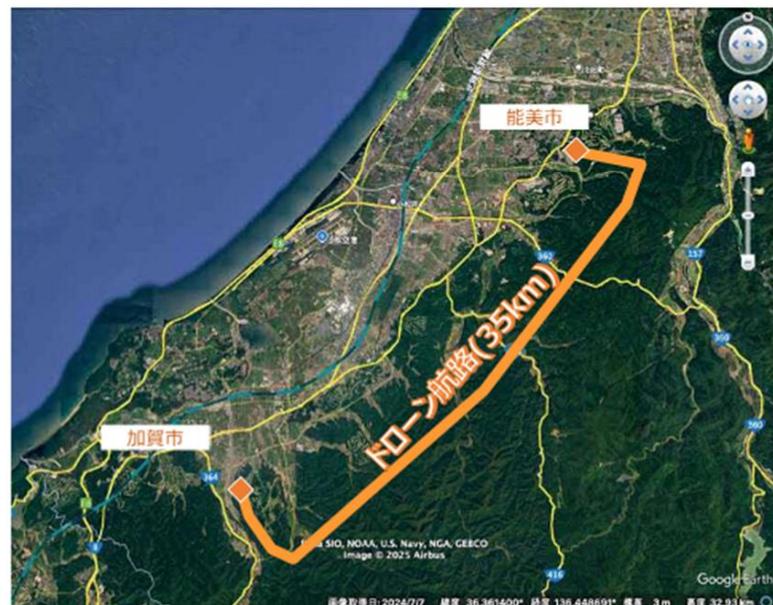


観光客の「手ぶら観光（トランク配送）」を両立

## (お) ドローン航路配送管理機能の具備

片山津温泉地区から、山代温泉地区・山中温泉地区・大聖寺などへの配送網を下支えするドローン航路を整備し、ドローンでの医薬品・日用品・食料品の配送を可能とする。ドローン航路は、経済産業省が推進するデジタルライフライン全国総合整備計画にて定められるガイドラインや規定に則り整備を行う。

ドローン航路整備範囲



# ビジネスモデルとスケジュール

## 収益化



森林監視や河川点検等の公共事業等を併せて担うなど、ドローンのマルチタスク利用で収益を確保

## スケジュール



システム開発、竹内酒販の改装、ドローン航路の調査・設定

実証実験を経て、住民・観光客向けサービス開始

# 全国に先駆けた「南加賀モデル」の確立へ

## 生活を守る

買い物・医療・物流への  
アクセスを維持



買い物・医療・物流への  
アクセスを維持

## 広域連携

自治体の枠を超えた  
インフラシェアリングの実装



自治体の枠を超えた  
インフラシェアリングの実装



南加賀モデル

## 先端技術の実装

トラジェクトリー社等の  
スタートアップ技術を社会実装



Trajectory Inc.

社会実装

トラジェクトリー社等の  
スタートアップ技術を社会実装